

「神の子」ってなんなの？

新共同訳における「神の子」の主なギリシャ語表記

- | | | |
|---------------------|-----------------------|-----------|
| 1) ὁ υἱὸς τοῦ θεοῦ | (the Son of God) | 神の独り息子 |
| 2) υἱοὶ θεοῦ | (sons of God) | 神の息子たち |
| 3) τέκνα θεοῦ | (children of God) | 神の子どもたち |
| 4) υἰοθεσία | (adoption as a son) | 養子 (縁組) |

ὁ	υἱὸς	τοῦ	θεοῦ
冠詞	息子	冠詞	θεός (神) の属格
the	Son	of	God

「υἱὸς」は「息子」。親の形質を受け継いでいる者。「υἱοὶ」は複数形。
ちなみに、娘は「θυγατηρ」(ルカ 13:16、マタ 9:22、マコ 5:34 など)
「τέκνον」は「子ども、子孫」、元々の意味は「生まれた者」。「τέκνα」は複数形。
「υἰοθεσία」は「養子」、元々の意味は「息子(として)・定める」

新共同訳における「人の子」のギリシャ語表記

ὁ	υἱὸς	τοῦ	ἀνθρώπου
冠詞	息子	冠詞	ἄνθρωπος (人) の属格
the	Son	of	Man

ヘブライ的な表現。「人の性質を持つ者」「すべての人間性を備えた人間」という意味。
人間が素晴らしく成長し、優れた存在になったという意味合いではなく、神が人間という
状態にまで降りてきてくれた「受肉」の意味が見て取れる表現
単に人間の最高位という位置付けではなく、基本的にイエスがメシアの称号として使う

受肉

旧約聖書の時代、神は預言者をとおして言葉を授け、人間に対して、いわば間接的に伝えられてきた。

イエスの誕生は、これに決定的な転換があり、神が人間の所まで降りてきて直接的に伝える事象であって、出発点が人間の世界ではなく、天上の神からの介入というのがポイント